

平成30年度 第1回 三重県議会「議員勉強会」開催要領

■目的

現在32道府県の議会において議会基本条例が制定されている状況となっており、議会改革の枠組みを構築する時期から議会改革の成果が問われる時期に入ったといえる。

以前から議会改革に取り組んできた三重県議会においても、今年度は議会活動計画の評価に基づいて議会改革の成果を検証しようとしているところである。

このような状況を踏まえ、成果志向の議会改革の取組をさらに強化していくために、本県議会として何をしていくべきか議論していく上での参考とする。

■日時・場所

平成30年10月15日（月） 14：15～15：45

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

※議員勉強会終了後、議会改革推進会議役員会の開催を予定しています

■講師

廣瀬 克哉（ひろせ かつや）氏

（法政大学副学長、法政大学法学部政治学科教授）

■演題

これからの議会改革に問われるもの

【講師紹介】

○廣瀬 克哉（ひろせ かつや）氏

奈良県出身。東京大学法学部卒業。

法政大学大学院政治学専攻政策研究プログラム発足時より実務家院生の研究指導を担当。

ロンドン大学政治経済学院（LSE）にて、1990年代に合計3年間在外研究の機会を得、サッチャー行革後のNPMの実態と議会制民主主義の運用を研究。

複数の自治体で情報公開条例、自治基本条例、議会基本条例などの制定過程を支援。

三重県議会、北海道栗山町議会、所沢市議会などで議会改革の検証に従事。

